

	一般的名称	報告の概要
502	ニトログリセリン	分娩時に胎児の蘇生のためニトログリセリンを投与された妊婦において、平均心拍数の増加や平均動脈圧の低下がおこることが示唆された。
503	ヘパリンナトリウム	市販の5種類のヘパリンロック製剤の薬液中に0.1ppm～0.01ppm以下の過酸化水素濃度が検出された。
504	エストラジオール	エストロゲン・プロゲステリン併用ホルモン療法により、浸潤性小葉癌発症リスクが高まることが示唆された。
505	アセトアミノフェン	出生当年にアセトアミノフェンを服用した小児において、喘鳴、鼻炎、湿疹などのアレルギー性疾患の発生率が高まることが示唆された。
506	ジゴキシン	うっ血性心不全のみられない心房細動患者へのジゴキシンの長期投与は死亡リスクを高めることが示唆された。
507	ホリナートカルシウム	転移性胃癌患者169例を対象としたFOLFIRI+ドセタキセル/シスプラチン療法とマイトマイシンC単剤療法を比較するPhaseⅢ試験において、前群で消化管出血と自殺により2例が死亡した。
508	ホリナートカルシウム	転移性結腸直腸癌患者474例を対象としたカペシタビン/オキサリプラチン併用療法とフルオロウラシル/ロイコボリン/オキサリプラチン併用療法を比較したランダム化PhaseⅢ試験において前群で敗血症、肺静脈血栓症、動脈血管塞栓症、十二指腸出血、象徴閉塞により、後群では悪性不整脈、急性腎不全、敗血症、激しい下痢を伴う脱水により死亡例がみられた。
509	ジソピラミド	薬物性不整脈、中毒に関連する症例報告データベースを利用したケースコントロール研究において、ジソピラミドの使用により薬物性不整脈発現リスクが高まることが示唆された。
510	ワルファリンカリウム	ワルファリンに関連した頭蓋内・頭蓋外出血を認めた非弁性心房細動患者13559例を対象としたレトロスペクティブ研究において、頭蓋外出血よりも頭蓋内出血の方が重篤な機能障害や死亡にいたる例が多かった。
511	イブプロフェン含有一般用医薬品	NSAIDsで関節炎の治療を受けた18歳以上の患者のコホート内症例対照研究により、イブプロフェンの使用により脳卒中の発現リスクが高まることが示唆された。
512	シンバスタチン	スタチン製剤服用により、重症筋無力症をおこした11例。
513	ヒトインスリン(遺伝子組換え)	インスリン導入目的で入院した119人において、インスリン導入後の肝障害(AST, ALT上昇)率が高いことが示唆された。
514	リン酸オセルタミビル	2005/2006シーズンのAH1型51株中2株にH274Yの変異が認められ、NA活性による薬剤感受性試験でもオセルタミビルに対し感受性の低下が認められた。
515	リン酸オセルタミビル	神奈川県下の小児科診療所および病院434施設を対象に行なったアンケート調査において130例の異常行動の報告がなされ、このうち「飛び出し・飛び降り」症例は19例であり、うちオセルタミビル使用例は47.5%であった。
516	リン酸オセルタミビル	2005/2006シーズンのAH1型51株中2株にH274Yの変異が認められ、NA活性による薬剤感受性試験でもオセルタミビル・ザナミビルに対し感受性の低下が認められた。